# 【2017年3月期決算記者会見資料】

※実績値は単位未満切り捨て。前年度比等の百分率は四捨五入。

#### ①契約の状況等

		2016年3	3月期(末)	2016年9	9月期 (末)	2017年3	3月期(末)
新契約年換算保険料	(百万円)	78, 479	(0.4%増)	41, 586	( 3.1%増)	93, 728	(19.4%増)
うち第三分野	(百万円)	13, 044	(15.3%増)	6, 960	( 5.5%増)	15, 121	(15.9%増)
保有契約年換算保険料	(百万円)	705, 746	(4.0%増)	721, 605	( 2.2%増)	747, 808	(6.0%増)
うち第三分野	(百万円)	76, 132	(11.2%増)	80, 234	( 5.4%増)	85, 363	(12.1%増)
保険料等収入	(百万円)	748, 914	(5.5%減)	381, 164	(1.8%増)	766, 336	( 2.3%増)
うち個人保険分野	(百万円)	675, 827	(6.0%減)	348, 526	(3.3%増)	699, 013	(3.4%増)
うち団体保険分野	(百万円)	70, 916	(1.3%減)	31, 352	(12.8%減)	64, 990	(8.4%減)
保有契約高 <sup>(注)</sup>	(百万円)	36, 790, 070	(1.1%増)	37, 090, 211	(1.3%増)	37, 825, 641	( 2.8%増)
解約・失効年換算保険料	(百万円)	39, 673	(3.2%増)	20, 357	( 0.7%減)	40, 446	(1.9%増)
解約・失効率(年換算保険料建ベース)	(%)	5. 85	(0.07ポイント低下)	2. 88	(0.14ポイント低下)	5. 73	(0.12ポイント低下)
新契約高 (注)	(百万円)	3, 528, 932	(3.6%増)	1, 889, 837	(4.0%増)	4, 186, 228	(18.6%増)
解約・失効高	(百万円)	2, 358, 214	( 2.3%増)	1, 191, 841	( 2.2%減)	2, 372, 753	(0.6%増)
解約・失効率 (契約高ベース)	(%)	6. 48	(0.09ポイント上昇)	3. 24	(0.11ポイント低下)	6. 45	(0.03ポイント低下)

- \*保険料等収入以外は個人保険+個人年金保険

- \*体険料等収入以外は個人体険+個人体速体検 \*保険料等収入は損益計算書ペース \*保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険+個人年金、団体保険分野は団体保険+団体年金の合計保険料 \*年換算保険料の対象は個人保険と個人年金。年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の払込回数に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額 (一時払契約等は、保険料を保険期間等(個人年金保険は年金開始時までの期間)で除した金額) \*解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出 \*( )内は前年同期比増減率 (解約・失効率は増減が分)

- (注) 定期保険と並んで主力商品である「Jタイプ(無配当重大疾病保障保険)」の重大疾病保険金額、「Tタイプ(無配当就業障がい保障保険)」 の就業障がい保険金額 および「介護リリーフ(無配当終身介護保障保険)」の介護保険金額を加算した金額でみた場合、次のとおりです。

(「Jタイプ」、「Tタイプ」および「介護リリーフ」は普通死亡の保障がないため、新契約高・保有契約高には計上していません。)

		2016年3月期	](末)	2016年9月其	期(末)	2017年3月	月期(末)
新契約高	(百万円)	4, 315, 542	(6.2%増)	2, 314, 513	(4.0%増)	5, 121, 169	(18.7%増)
保有契約高	(百万円)	39, 205, 952	(2.7%増)	39, 846, 309	( 2.9%増)	40, 992, 241	(4.6%増)

#### ②資産の状況等

SXX-4 MM 1							
	2016年3月末		2016年9月末		2017年3月末		
総資産	(百万円)	6, 152, 026	( 2.9%増)	6, 186, 171	( 2.6%増)	6, 298, 188	( 2.4%増)
実質純資産額	(百万円)	1, 436, 157	(11.5%増)	1, 412, 906	(12.0%増)	1, 354, 496	( 5.7%減)
実質純資産額/一般勘定資産	(%)	23. 4	(1.8ポイント上昇)	22. 9	(1.9ポイント上昇)	21. 6	(1.8ポイント低下)
ソルベンシー・マージン比率	(%)	1, 341. 9	(21.8ポイント低下)	1, 386. 8	(42.8ポイント上昇)	1, 252. 6	(89.3ポイント低下)

\* ( ) 内は前年同期比増減率 (実質純資産額/一般勘定資産、ソルベンシー・マージン比率は増減ポイント)

# ③基礎利益・順ざや・利回り等

		2016年3	月期	2017年3	3月期	2018年3月期予想	
基礎利益	(百万円)	104, 829	( 2.6%減)	105, 677	(0.8%増)	95, 000	

## ) 内は前年同期比増減率

		2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期予想
順ざや額	(百万円)	30, 604	(6,463増)	25, 033	(5,570減)	25, 000

### ) 内は前年同期比増減実額

		2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期予想
基礎利益上の運用収支等の利回り	(%)	2. 55	2. 33	2. 2
運用利回り(一般勘定)	(%)	2. 29	1. 76	1.9
平均予定利率	(%)	1. 94	1. 85	1.8

### 4準備金

	2016:	年3月末	2016:	年9月末	2017	年3月末	
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	5, 134, 559	(178,505 増)	5, 235, 278	(187,980 増)	5, 334, 761	(200,201 増)
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	5, 113, 764	(180,410 増)	5, 216, 276	(190,345 増)	5, 316, 387	(202,622 増)
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	20, 795	(1,905 減)	19, 002	( 2,365 減)	18, 373	( 2,421 減)
価格変動準備金	(百万円)	79, 655	(2,547 増)	84, 958	(6,627 増)	90, 465	(10,809 増)
危険準備金	(百万円)	65, 809	(2,803 増)	66, 833	(2,326 増)	68, 845	(3,035 増)
うち危険準備金Ⅰ	(百万円)	39, 157	(394 増)	39, 445	(383 増)	40, 176	(1,018 増)
うち危険準備金Ⅱ	(百万円)	21, 242	(1,979 増)	21, 765	(1,530 増)	22, 775	(1,533 増)
うち危険準備金Ⅲ	(百万円)	920	(52増)	922	(28 増)	924	(3増)
うち危険準備金Ⅳ	(百万円)	4, 488	(377 増)	4, 698	(383 増)	4, 969	(480 増)
危険準備積立金	(百万円)		_		_		_
価格変動積立金	(百万円)		_		_		
別途積立金	(百万円)	150, 000	(-)	150, 000	(-)	150, 000	(-)

\_\_\_\_\_ )内は前年同期比増減実額

<sup>\*</sup> 別途積立金は、2016年3月末は剰余金の処分後の残高を、2017年3月末は株主総会決議予定の剰余金の処分後の残高をそれぞれ記載

#### ⑤含み損益

	2016年3月末		2016	年9月末	2017年3月末		
有価証券	(百万円)	619, 266	(99,952 増)	605, 825	(143,436 増)	502, 618	(116,648 減)
うち国内株式	(百万円)	144, 767	(22,038 減)	132, 557	(20,532 減)	167, 278	(22,511 増)
うち国内債券	(百万円)	400, 430	(164,633 増)	405, 082	(171,433 増)	307, 285	(93,144 減)
うち外国証券	(百万円)	56, 967	(30,814 減)	54, 506	(1,253 減)	4, 752	(52,215 減)
うちその他の証券	(百万円)	8, 191	(12,279 減)	5, 960	(6,104 減)	17, 251	(9,060 増)
不動産	(百万円)	28, 848	(945 減)	29, 273	(10,192 増)	37, 854	(9,006 増)

- ) 内は前年同期比増減実額
- \*\* 有価証券の含み損益は、有価証券のうち時価のあるものについて、責任準備金対応債券および満期保有目的の債券の差損益、その他有価証券評価差額の合計値を記載。 \*不動産の含み損益は、国内の土地および借地権を対象としております。なお、再評価は実施していません。 また、時価は原則として鑑定評価額、重要性の低い物件等については公示価格を基準として評価しています。

#### ⑥運用実績と計画

		2016年度実績	2017年度計画	
国内株式 (国内株式投信等を含む)	(百万円)	1,830 増 (20,251 増)		
国内债券	(百万円)	176,823 増	・国内株式、外国株式は市場見通しに応じて機動的に残高を調整。	
外国株式等 (外国債券投信を除く)	(百万円)	148, 422 増 ( 2, 693 増)	・国内債券は、中長期的にデュレーションを長期化する方針であるが、 金利水準を踏まえ購入額を調整。 ・外国債券は積み増す方針(為替ヘッジ比率は市場見通しに応じて	
外国債券 (外国債券投信を含む)	(百万円)	33,704 増 (179,433 増)	調整)。	
不動産	(百万円)	9,922 増		

#### ⑦資産の含み損益がゼロになる水準

		2017年3月末
国内株式(日経平均)	(円)	8,400 程度
国内株式(TOPIX)	(ポイント)	670 程度
国内債券	(%)	1.0 程度
外国証券	(円)	113 程度

- メーニを受ける。 \* 上記数値は、当社のポートフォリオが日経平均株価やTOPIX、新発10年国債利回り、ドル円レートに連動すると仮定し、2017年3月末時点の保有状況により試算した結果です。 \* ただし、当社のポートフォリオはこれらの指標に連動するとは限りませんので、試算時点によりこれらの数値は異なります。 \* 国内債券は新発10年国債利回り(3月末0,07%)換算し、小数点第一位まで算出しています。なお、3月末実績のイールドカーブが平行移動した場合の含み損益がゼロとなる
- 新発10年国債利回りの試算値を記載しております。
- \*外国証券はドル(3月末112.19円)換算にて算出した為替要因のみの含み損益がゼロになる水準です。なお、為替にかかるヘッジ会計適用分を除いて算出しています。

## ⑧2018年3月期の業績見通し

		2018年3月期予想
保険料等収入	(百万円)	800, 000
保有契約年換算保険料	(百万円)	780, 000
保有契約高 <sup>(注)</sup>	(百万円)	37, 950, 000

(注) 「Jタイプ (無配当重大疾病保障保険)」の重大疾病保険金額、「Tタイプ (無配当就業障がい保障保険)」の就業障がい保険金額および「介護リリーフ (無配当終身介護保障保険)」の介護保険金額を加算した保有契約高の見通しは、次のとおりです。

· / i ii 🗸 / /	-		٠, ١	
				2018年3月期予想
保有契約高		(百万F	円)	41, 780, 000

#### 9職員数

- 1W3C2A		2016年3月末		2016年9月末		2017年3月末	
営業職員	(人)	3, 867	( 2.0%増)	3, 881	(0.5%増)	3, 843	( 0.6%減)
代理店	(店)	13, 793	(0.9%増)	13, 659	(1.1%増)	13, 878	(0.6%増)
内勤職員	(人)	3, 092	( 0.4%減)	3, 147	(0.3%増)	3, 091	( 0.0%減)

<sup>)</sup> 内は前年同期比増減率

### ⑩配当の状況 (数値は契約者配当準備金繰入額)

		2016年3月期		2017年3月期				
個人保険・個人年金	(百万円)	3, 797	( 1.6%増)	3, 634	(4.3%減)			
団体保険	(百万円)	9, 461	( 2.8%減)	9, 471	( 0.1%増)			
団体年金	(百万円)	456	(48.6%減)	463	(1.7%増)			
その他共計	(百万円)	13, 788	(4.7%減)	13, 636	( 1.1%減)			

<sup>\* ( )</sup> 内は前年同期比増減率

### ⑪銀行窓販の状況

当社は銀行窓販を行っておりませんので、該当事項はありません。

別 紙

# その他質問項目(2017年3月期)

○変額年金保険等の最低保証に係る一般勘定の責任準備金 繰入・戻入の状況

	2016年3月期	2016年9月期	2017年3月期	
変額年金保険等の最低保証に係る 一般勘定の責任準備金繰入・戻入	(億円)	1	Δ 0	Δ 2

※戻入額については△で表示

以 上